

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	水辺の公私計画論検討小委員会		主 査 名：山田圭二郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)		委員長名：岩田利枝 主 査 名：西川豊宏
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・前小委員会で開催した『親水空間論』(2014 年)を踏まえて、公私計画論の観点から水辺空間の所有・管理・利用等を巡る、公私の多様な関係に着目する。 ・それに応じた水辺空間のあり方、諸制度・地域的ルール、具体的な水辺空間の計画の方法論等を明らかにする。 ・4 年間の小委員会活動を経た成果を、書籍としてまとめて社会に発信する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：山田圭二郎 (金沢工業大学) 幹事：岡村幸二 (建設技術研究所) 委員：青木秀史 (オリエンタルコンサルタント)、飯田哲徳 (建設技術研究所)、市川尚紀 (近畿大学)、上山肇 (法政大学)、畔柳昭雄 (日本大学)、菅原遼 (日本大学)、坪井塑太郎 (国土防災技術)、村川三郎 (広島大学名誉教授)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018 年度予算	57,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 水辺の所有・管理・利用等を巡る公私関係を事例調査により把握できた。 「山形御殿堰と金山水路網」視察調査 (10/6,7) 参加者数 6 名 (七日町御殿堰株式会社ヒアリング、金山町水路網の観光協会によるガイド) 2. 水辺空間のあり方、諸制度・地域的ルール等を分析することにより、公私計画論の方法論を展開することができた。 3. 建築学会大会において、1 セッションを構えて発表することができた。 日本建築学会大会 (9/4) セッション「水と緑の公私計画論に関する研究 6 編」居心地のよい空間の成立条件 (岡村)、広島県広島市の水辺のオープンカフェ (市川)、兵庫県三田市のオープンガーデン (上山)、山中温泉の地域温泉実態 (櫻井・山田)、ニューヨーク市のブルックリン・ブリッジ・パーク (畔柳・菅原) ほか 参加者数 約 20 名
委員会活動の問題点・課題	1. 研究成果を書籍として内容を整理して、印刷出版の準備をしていくこと。 2. 本小委員会の準備で、水環境運営委員会のシンポジウムを実施すること。

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会活動4年間のなかで、シンポジウムを3回実施するなどして、本研究に興味を持った方に、小委員会のメンバー参加へのお誘いや、準会員の体制を広く情報共有をしていくネットワークの構築を進めてきた。 ・今年度の日本建築学会大会(9月)において、本小委員会のメンバーにより「水と緑の公私計画論に関する研究」としてセッションを企画・実施したことは、重要な意義があると考ええる。 ・最終取りまとめの年度ではあるが、積極的に「山形県の水辺視察(山形市・金山町)」を小委員会メンバーで成果を共有できたことは、今後の調査研究を継続する意義を示すこととなり、次のステップへの足がかりとなった。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。